



鲁迅景宋通信集

《两地书》的原信

湖南人民出版社

鲁迅景宋通信集

《两地书》的原信



湖南人民出版社

鲁迅景宋通信集

《两地书》的原信

责任编辑：黄仁沛

湖南人民出版社出版

(长沙市展览馆路14号)

湖南省新华书店发行 湖南省新华印刷一厂印刷

1984年6月第1版第1次印刷

字数：240,000 印张：12.625 印数：1—11,900

统一书号：10109·1753 定价：(平装)1.50元 (精装)2.25元

“刺猬”

（由老三转的）

今日得你的信，是前天收到的，昨天写了一封回信寄出。
昨夜雨，都未再收到来信，我想，这一定是因为车误
了，或由於火车被耽搁了。

昨天下午去向日本船，知道從天津同行，因须泊大
连三天，至快要六天後到上海。我看现在坐车还
很可以，可以想于二月三日动身，等候着，李誠而于
八日或九日回港。如果到月初若见不宜于坐车，那时
再改走海道，不遇到庵工要连战三天。但上，我常看
最妥当的方法办，你可放心。

昨天又寄了字画，这次是其一，以后的信及擦墨

小白象：

耽誤了兩天信，計期應該有得到了。果然，今天收到十七夜寫的你的信。如果這十三夜那信一到，那這兩天的耽誤不至於壞了。原因在前信三、五到快到香港之外，這四七天到就覺得不應該了。都是郵局作弊，以為你當耐性地等候，至於你別不必連睡也不睡來敷筆的。

明天是礼拜六，這是第二個礼拜了。这似乎也快，又似乎慢。咱们的事，如果有人硬來對付，那倒情願，最怕是欺難於為情，那已怕軟不怕硬，事情不講理的。

目 录

一九二五年

(一) 景宋三月十一日	(1)
(二) 鲁迅三月十一日	(4)
(三) 景宋三月十五日	(7)
(四) 鲁迅三月十八日	(11)
(五) 景宋三月二十日	(13)
(六) 鲁迅三月二十三日	(16)
(七) 景宋三月二十六日	(18)
(八) 鲁迅三月三十一日	(21)
(九) 景宋四月六日	(24)
(十) 鲁迅四月八日	(29)
(十一) 景宋四月十日	(32)
(十二) 鲁迅四月十四日	(36)
(十三) 景宋四月十六日	(39)
(十四) 景宋四月二十日	(41)
(十五) 鲁迅四月二十二日	(43)
(十六) 景宋四月二十五日	(47)
(十七) 鲁迅四月二十八日	(51)
(十八) 景宋四月三十日	(54)
(十九) 鲁迅五月三日	(57)

P460.62

(二十)	景宋五月九日	(60)
(二十一)	景宋五月十七日	(62)
(二十二)	鲁迅五月十八日	(63)
(二十三)	景宋五月二十七日	(64)
(二十四)	鲁迅五月三十日	(67)
(二十五)	景宋六月一日	(70)
(二十六)	鲁迅六月二日	(72)
(二十七)	景宋六月五日	(73)
(二十八)	景宋六月十二日	(75)
(二十九)	鲁迅六月十三日	(76)
(三十)	景宋六月十七日	(79)
(三十一)	景宋六月十九日	(83)
(三十二)	鲁迅六月二十八日	(85)
(三十三)	鲁迅六月二十九日	(87)
(三十四)	景宋六月三十日	(89)
(三十五)	鲁迅七月九日	(91)
(三十六)	景宋七月十三日	(92)
	附：《罗素的话》	(93)
(三十七)	鲁迅七月十五日	(96)
(三十八)	景宋七月十五日	(96)
(三十九)	鲁迅七月十六日	(98)
(四十)	景宋七月十七日	(101)
(四十一)	鲁迅七月二十九日	(104)

一九二六年

- (四十二) 鲁迅八月十五日 (107)
(四十三) 鲁迅九月四日 (107)
(四十四) 景宋九月六日 (108)
(四十五) 景宋九月八日 (114)
(四十六) 景宋九月十二日 (115)
(四十七) 鲁迅九月十三日 (116)
(四十八) 鲁迅九月十四日 (117)
(四十九) 景宋九月十七日 (121)
(五十) 景宋九月十八日 (121)
(五十一) 鲁迅九月二十日 (123)
(五十二) 鲁迅九月二十二日 (126)
(五十三) 景宋九月二十三日 (127)
(五十四) 鲁迅九月二十六日 (131)
(五十五) 景宋九月二十八日 (135)
(五十六) 景宋九月三十日 (138)
(五十七) 鲁迅九月三十日 (140)
(五十八) 鲁迅十月四日 (144)
(五十九) 景宋十月四日 (147)
(六十) 景宋十月七日 (151)
(六十一) 鲁迅十月十日 (153)
(六十二) 景宋十月十日 (156)
(六十三) 景宋十月十四日 (159)
(六十四) 鲁迅十月十五日 (163)

(六十五) 鲁迅十月十六日	(166)
(六十六) 景宋十月十八日	(168)
(六十七) 鲁迅十月二十日	(169)
(六十八) 景宋十月二十一日	(173)
(六十九) 景宋十月二十二日	(176)
(七十) 景宋十月二十三日	(178)
(七十一) 鲁迅十月二十三日	(179)
(七十二) 景宋十月二十七日	(184)
(七十三) 鲁迅十月二十八日	(189)
(七十四) 鲁迅十月二十九日	(189)
(七十五) 景宋十月三十日	(190)
(七十六) 鲁迅十一月一日	(192)
(七十七) 鲁迅十一月四日	(195)
(七十八) 景宋十一月四日	(198)
(七十九) 景宋十一月七日	(201)
(八十) 鲁迅十一月八日	(204)
(八十一) 鲁迅十一月九日	(207)
(八十二) 景宋十一月十一日	(209)
附：驳斥所谓省立女师学生会援助被同学李秀梅	
蒋仲篪宣言	(212)
省立女师学生会为选派代表出席“各校代表大会”	
及学校无理开除李秀梅斥退蒋仲篪事宣言	(215)
(八十三) 景宋十一月十三日	(217)
(八十四) 景宋十一月十四日	(219)
(八十五) 鲁迅十一月十五日	(221)
(八十六) 景宋十一月十五日	(223)

(八十七)	景宋十一月十六日	(228)
(八十八)	景宋十一月十七日	(231)
(八十九)	鲁迅十一月十八日	(232)
(九十)	鲁迅十一月二十日	(235)
(九十一)	景宋十一月二十一日	(238)
(九十二)	景宋十一月二十二日	(239)
(九十三)	鲁迅十一月二十六日	(243)
(九十四)	景宋十一月二十七日	(246)
(九十五)	鲁迅十一月二十八日	(249)
(九十六)	景宋十一月三十日	(252)
(九十七)	景宋十二月二日	(253)
(九十八)	鲁迅十二月二日	(255)
(九十九)	鲁迅十二月三日	(258)
(一〇〇)	景宋十二月六日	(260)
(一〇一)	鲁迅十二月六日	(262)
(一〇二)	景宋十二月七日	(263)
	附：欢迎鲁迅先生来广州	(266)
(一〇三)	景宋十二月七日	(267)
(一〇四)	鲁迅十二月十一日	(271)
(一〇五)	景宋十二月十二日	(272)
(一〇六)	鲁迅十二月十二日	(275)
(一〇七)	景宋十二月十五日	(278)
(一〇八)	鲁迅十二月十六日	(280)
(一〇九)	景宋十二月十九日	(285)
(一一〇)	鲁迅十二月二十日	(287)

- (一一一) 景宋十二月二十二日(288)
(一一二) 鲁迅十二月二十三日(290)
(一一三) 鲁迅十二月二十三日(291)
(一一四) 鲁迅十二月二十四日(292)
(一一五) 景宋十二月二十七日(294)
(一一六) 鲁迅十二月二十九日(298)
 附：孙伏园致鲁迅信(299)
(一一七) 景宋十二月三十日(300)
(一一八) 景宋十二月三十日(302)

一九二七年

- (一一九) 鲁迅一月二日(303)
(一二〇) 景宋一月五日(305)
(一二一) 鲁迅一月五日(307)
 附：孙伏园致鲁迅信(309)
(一二二) 鲁迅一月六日(310)
(一二三) 景宋一月七日(311)
(一二四) 鲁迅一月十一日(313)
(一二五) 鲁迅一月十七日(316)

一九二九年

- (一二六) 景宋五月十三日(319)
(一二七) 鲁迅五月十五日(322)
(一二八) 景宋五月十六日(324)
(一二九) 景宋五月十七日(326)

- (一三〇) 鲁迅五月十七日 (328)
(一三一) 景宋五月十九日 (330)
(一三二) 景宋五月二十日 (333)
(一三三) 鲁迅五月二十一日 (334)
(一三四) 景宋五月二十一日 (336)
(一三五) 鲁迅五月二十二日 (337)
(一三六) 鲁迅五月二十三日 (339)
(一三七) 景宋五月二十三日 (341)
(一三八) 景宋五月二十四日 (343)
(一三九) 鲁迅五月二十五日 (344)
(一四〇) 鲁迅五月二十六日 (346)
(一四一) 景宋五月二十七日 (348)
(一四二) 鲁迅五月二十七日 (349)
(一四三) 景宋五月二十八日 (351)
(一四四) 鲁迅五月二十九日 (353)
(一四五) 鲁迅五月三十日 (354)
(一四六) 鲁迅六月一日 (356)

一九三二年

- (一四七) 景宋十一月十一日 (359)
(一四八) 景宋十一月十二日 (360)
(一四九) 鲁迅十一月十三日 (361)
(一五〇) 鲁迅十一月十三日 (362)
(一五一) 景宋十一月十四日 (363)
(一五二) 鲁迅十一月十六日 (364)

(一五三)	景宋十一月十六日	(366)
(一五四)	景宋十一月十八日	(367)
(一五六)	鲁迅十一月十九日	(369)
(一五六)	景宋十一月二十日	(370)
(一五七)	鲁迅十一月二十日	(372)
(一五八)	景宋十一月二十一日	(373)
(一五九)	鲁迅十一月二十三日	(374)
(一六〇)	景宋十一月二十三日	(375)
(一六一)	景宋十一月二十四日	(377)
(一六二)	景宋十一月二十五日	(379)
(一六三)	景宋十一月二十六日	(379)
(一六四)	鲁迅十一月二十六日	(380)
 书后说明		周海婴(383)

(一)

鲁迅先生：

现在执笔写信给你的：是一个受了你快要两年的教训，是每星期翘盼着希有的，每星期三十多点钟中一点钟小说史听讲的，是当你授课时，坐在头一排的坐位，每每忘形地直率地凭其相同的刚决的言语，在听讲时好发言的一个小学生：他有许多怀疑而愤懑不平的久蓄于中的话；这时许是按抑不住了吧，所以向先生陈诉：

有人以为学校场所；能愈隔离城市的尘纷、政潮的影响，愈是效果佳些，的确！这是否有一部分的理由呢？记得在中学时代，那时也未常不有攻击教员，反对校长的事情发生，然而无论反与正的二方面，总是偏重在“人”的方面权衡它，从没遇过在“利”的方面去取过，先生！这是受都市政潮的影响呢？还是年龄的继续增长、戕害了他呢？先生！你请看看吧！现在北京学界中发生了驱逐校长的事，同时反对的，赞成的，立刻就各标旗帜，校长以“留学”，“留堂”——毕业留本校任职——谋优良位置为钓饵，学生以权利得失为去取，今日收买一个，明日收买一个……今日被买一个，明日被买一个……在买者蝇营狗苟，凡足以固位恋栈的无所不用其极，有洞皆钻，无门不入。被买者也廉耻丧尽，人格破产。似此情形，出于清洁之教育界人物，有同猪仔行径，其尤可愤恨的，这种含多量细菌的

空气，乃播于名为受高等教育之女校长女学生身上。做女校长的，如其确有谋该校教育发展的干材的伟大教育高见，及其年来经过成绩，何妨公开的布告，而乃“昏暮乞怜，丑态百出，啧啧在人耳口。”呜呼！中国教育之前途。但是女校长或者因环境种种关系，支配了她不能不如此！而何以校中学生对于该事乃日见软化，明明今日好好的出席，提出种种反对条件，转眼就掉过头来噤若寒蝉，或者明示其变态行动。呜呼！此中国女子教育之前途！或者此政潮影响教育之前途！！！情形是一天天的恶化了！五四以后的青年是很可以悲观痛哭的了！在无可救药的赤火红红的气焰之下，先生！你放下书包，洁身远引的时候，是可以“立地成佛”的了！然而！先生！你在仰首吸那卷着一丝丝醉人的黄叶，喷出一缕缕香雾弥漫时；先生！你也垂怜，注意，想及有在虿盆中展转待拔的么？也愿意而且痛快地予以“杨枝玉液”时时浸入他的心脾，使他坚固牢固他的愚直么？先生！他自信他自己是一个刚率的人，他也更相信先生比他更刚率十二万分的人，因为有这点点小同，但对于先生是尽量地质言的。是希望先生收录他作个无时、地界限的指南诱导的！先生！你可允许他？

苦闷之果是最难尝的，虽然食过苦果之后有点回甘，然而苦的成分太重了！也容易抹煞甘的部分，在饮过苦茶之后，细细的吮吮嘴唇皮虽然有些儿甘香，但总不能引起人好食苦茶—药—的兴味，除了病的压迫，人是绝对不肯无故去寻苦茶喝的！苦闷之不能免掉，或者如同疾病的不能免掉一般—除了毕生抱疾—但是疾病不是时时刻刻在身

边的，而苦闷则总比爱人还来得亲切，总时刻地不招即来，挥之不去，先生！有什么法子在苦药中加点糖分？有糖分是否即绝对不苦？先生！你能否不象章锡琛先生在《妇女》^①中答话的那样模糊，而给我一个真切的明白的引导：

现在的青年的确一日日的堕入九层地狱了！或者我也是其中之一。虽然每星期中一小时的领教，可以快心壮气，但是危险得很呀！先生！你有否打算过“救人一命，胜造七级浮屠”呢？先生！你虽然很果决的平时是；但我现在希望你把果决的心意缓和一点，能够拯拔得一个灵魂就先拯拔一个！先生呀！他是如何的“惶急待命之至”！敬候

撰安！

谨受教的一个小学生许广平

十一，三，十四年

他虽然被人视为学生二字上应加一“女”字，但是他之不敢以小姐自居也如同先生之不以老爷少爷自命，因为他实在不佩〔配〕^②居小姐的身分地位，请先生不要怀疑。一笑。

① 指《妇女杂志》月刊，一九一五年一月创刊于上海，一九三一年十二月停刊。

② 本信中凡笔误的字用〔 〕号标出，漏字用()号标出。以后同此。

(二)

广平兄：

今天收到来信，有些问题恐怕我答不出，姑且写下去看。

学风如何，我以为和政治状态及社会情形相关的，倘在山林中，该可以比城市好一点，只要办事人员好。但若政治昏暗，好的人也不能做办事人员，学生在学校中，只是少听到一些可厌的新闻，待到出校和社会接触，仍然要苦痛，仍然要堕落，无非略有迟早之分。所以我的意思，倒不如在都市中，要堕落的从速堕落罢，要苦痛的速速苦痛罢，否则从较为宁静的地方突到闹处，也须意外地吃惊受苦，其苦痛之总量，与本在都市者略同。

学校的情形，向来如此，但一二十年前，看去仿佛较好者，因为足够办学资格的人们不很多，因而竞争也不猛烈的缘故。现在可多了，竞争也猛烈了，于是坏脾气也就彻底显出。教育界的清高，本是粉饰之谈，其实和别的什么界都一样，人的气质不大容易改变，近几年大学是无甚效力的，况且又有这样的环境，正如人身的血液一坏，体中的一部分决不能独保健康一样，教育界也不会在这样的民国里特别清高的。

所以，学校之不甚高明，其实由来已久，加以金钱的魔力 本是非常之大，而中国又是向来善于运用金钱诱惑